

こう使う!
COLUMBUS 21
ENGLISH COURSE

内田先生の授業を レポート!

2年4組 (生徒数:36名)

学習内容: Unit 6 リテリング(ラウンド4)

本時の目標: Unit 6の内容を自分の言葉で説明



英語教室に、前の授業を終えた生徒たちが続々と集まってくる。教室には英語の歌が流れていて、始業を待つ間に自然と英語モードに切り替わるよう環境づくりがされている。チャイムとともに、内田先生が“OK, let's try.”と発声。生徒たちは一斉にプリントに目を落とした。

[帯活動1 LSD]
最後の文を書き取るディクテーション

最初に挑戦するのは、「LSD(Last Sentence Dictation)」の活動。ディクテーションの一つで、聞こえてくる連続した文章のうち最後の一文を書き取るというもの。この日は、1年生の教科書のUnit 10の音声を用いたLSDで、解答は“He can't come today.”。答え合わせの後、内

田先生が「can't……こういう感じのもの、いっぱいありますよね? For example……」と投げかけると、“Must!” “Could!”と声上がる。続けて先生が“OK, we call this 助動詞。Can you pick up more than 5助動詞?”と促すと、生徒たちは“May!” “Will!”などと、競うように例を挙げはじめた。ここで内田先生は、助動詞の一覧が示された副教材のページを示して、生徒たちに助動詞の表現の幅を確認し、次の活動に進んだ。

[帯活動2 4 Corners]
グループで助け合い文章を完成させる

4 Cornersとは、一つの文章を四つに分割して教室の四隅に貼り、四人組になった生徒が分

担してそれを読みに行き、理解したことを共有することで、文章全体を再現するという活動だ。“Let's try 4 Corners. Move your desk.”の声を聞くや、四人組のグループをつかった生徒たち。6分の制限時間が告げられると、生徒どうして役割分担し、それぞれ教室の四隅へと移動しはじめた。教室には再び洋楽が流され、リラックスした雰囲気がつくれる。6分後、答え合わせの後に全員で全文を音読し、机を戻すと、いよいよ本時の内容、教科書Unit 6に入った。

[Story Telling]
本文内容を自分の言葉で説明する

前述のとおり、授業は、教科書の全ユニットを1年間で4~5回繰り返して学ぶ「ラウンドシステム」で行われる。2年生のラウンド4では、ピクチャーカードを使って、本文の内容を自分の言葉で伝えるStory Tellingの活動を行う。

内田先生は、Part1~3まで、教科書全文を各自で音読させた後、ピクチャーカードを配付。表現を復習するために教科書を見てもよい時間を30秒だけ与えると、教科書を閉じさせた。

ここから、隣に座る人どうしのペア、前後に座る人どうしのペア、斜めに座る人どうしのペアと、次々とペアを変えながら、じゃんけんをしては、勝者が相手に30秒間でストーリーを話す、というのを繰り返していくのだが、これ



ペアになってStory Tellingを行う。Unit 6のピクチャーカードを使いながら教科書の内容を自分の言葉で伝える。

は、通称「修行」の時間だ。

実は隣どうしに座っていた「基本のペア」は「師弟関係」で結ばれている。年度の初めに、生徒全員に「クラスメートの誰に英語を教わりたいか」というアンケートをとり、その結果と成績、仲のよさを考慮して、内田先生が師匠と弟子のペアを作る。これにより、生徒どうし教え合い、学び合うという形が自然にできるだけでなく、評価やアドバイスをしやすい雰囲気ができるという。

[Story Writing]
話した内容を文字にする

続いて内田先生がStory Telling Sheetと書かれたプリントを配付。その上部には、教科書本文から抜き出されたキーワードが9~10語示されており、その語を使いながら、自分の話した内容を英文に書く。教科書は見ないが、生徒たちは、繰り返し口にした文章とあって、さらさらと鉛筆を走らせる。

その後、再びペアを変えながらStory Tellingの活動を行ったが、一度文字にして書いたことで整理されたのか、どの生徒も、書く前以上に、よどみなく話せるようになっていた。

活動が盛りだくさんで、まさに休む暇もなく話し続けた50分。生徒たちは充実感にあふれた表情で英語教室を後にしていった。

●Unit 6 A Therapy Dog

本文の内容: ニックとティナの姉弟がセラピードッグの訓練を受けている子犬のラスティを訪ねる場面。身近な動物である犬と人間とのかかわりや、盲導犬や介助犬の役割について理解する。
なお、Unit 2のストーリーで、ニックが捨てられていた子犬を助けて施設にあずけるという伏線が張られている。

ラウンド	内容
1	リスニングによる内容理解: 教科書の音声を繰り返し聞く
2	音読: さまざまな手法で音読練習を繰り返す
3	穴あき音読: 本文の語を空欄にしたワークシートを用い、穴埋めしながら音読する
4	リテリング(Story Telling): ピクチャーカードを使いながら教科書の内容を自分の言葉で伝える ★
5	3年生のラウンド1(リスニングによる内容理解)の先取り学習

今日の
授業はココ!



4 Cornersに取り組む生徒たち。自分が担当しているCornerの文章を読みに行く。

*1年生ではラウンド2で音と文字の一致を行うが、2・3年生では行わず、その分、授業冒頭の帯活動とライティング活動の時間を長くしている。